

住民説明会を開催



↑ 応急仮設住宅等住民説明会の様子

12月18日～21日の4日間、平成29年度に向けた“ふる里復興・再生、町政進展”への説明をするため、広野町公民館並びにいわき市内各仮設住宅において住民説明会を開催しました。

主な説明事項としては、①生活再建支援について、②生活環境整備事業について、③広野町部分林の契約解除についてなどで、町幹部職員のほか、環境省福島環境再生事務所の職員や東京電力の職員が出席し、担当する事業などについて説明しました。

笛吹すけっこの会、ふえふき男衆ボランティアに感謝状



↑ 感謝状を手にする野間耕二さんと仮設住宅の皆さん

12月20日、いわき市四倉鬼越仮設住宅で、山梨県笛吹市の「笛吹すけっこの会（代表：大竹茂さん）」と「ふえふき男衆ボランティア（代表：芦沢義男さん）」に対し、町は感謝状を贈りました。この日は笛吹市から両団体の主要メンバーである野間耕二さんへ、遠藤町長から感謝状を手渡し、これまでの支援にお礼を述べました。

同団体からは、平成23年12月に四倉鬼越仮設住宅に支援物資を届けていただいたほか、夏にはかき氷や焼きもちを振る舞い、冬には餅つきイベントを開催するなどの支援をいただいています。

平成29年新春交歓会を開催



↑ 平成29年新春交歓会の様子

1月6日、広野町中央体育館で平成29年広野町新春交歓会を開催し、昨年を上回る約200人の関係者や町民が集い、新年のあいさつを交わしました。会場では、温かい「豚汁」が振る舞われたほか、広野町文化協会の茶道部会による呈茶サービスが行われ、お正月らしい雰囲気を醸し出していました。

双葉警察署長から感謝状



↑ 感謝状を受けた富岡地区防犯指導隊広野分隊の松本隊長

12月28日、警察活動に協力した個人や団体に富岡警察署の佐治署長から感謝状が贈られました。広野町では、福利厚生で堀江守さん（下北迫）、警察業務運営協力で根本一夫さん（上北迫）、広野町公民館、地域安全活動功労で広野町警戒パトロール隊、富岡地区防犯指導隊広野分隊、交通事故防止活動功労で広野小学校・広野中学校にそれぞれ贈られました。

感謝状を受け取った富岡地区防犯指導隊広野分隊の松本功隊長は、「隊員の日ごろの活動が認められたもので、誇りに思う。」と話されました。

純真学園大学と連携協力協定を締結



↑ 協定締結式で福田庸之助学長（写真右）と握手を交わす遠藤町長

1月11日、純真学園大学と広野町は、放射性物質の測定および人体・環境への影響調査および連携協力に関する協定を締結しました。締結式は、福岡市の純真学園大学で行われ、同大学の福田庸之助学長と遠藤町長が協定書に署名し、互いにかたい握手を交わしました。

この協定は、同大学の新井正一教授が平成23年8月から平成28年3月まで広野町除染アドバイザーに就任していたことや、アドバイザー終了後も同大学の学生と広野町を訪れ、町内の土壌調査を実施していただいていることから、より発展的な関係に成熟させていくために協定を締結したものです。

民生委員に委嘱状を交付



↑ 広野町民生委員協議会の様子

12月12日、広野町民生委員協議会の会議が広野町役場で行われ、任期満了にともない退任された広野町民生委員協議会会長の佐藤功さんほか4人に感謝状が贈られました。また、新たに民生委員に委嘱された6人に委嘱状が交付されました。同会の会長に久賀三枝子さん、副会長に星直延さんが就任し、17人体制で広野町民の生活に関する相談や助言などを行っていきます。

「高野病院を支援する会」を設立



↑ 支援する会設立の経緯を説明する遠藤町長（写真中央）

昨年末12月30日の深夜に高野病院の高野英男院長が自宅での火災にて逝去されました。この度、高野医師が亡くなられたことで、高野病院は院長・常勤医がいない状態であり、広野町および周辺地域の医療は危機的な状況に陥っています。町としては、この状況を打開するべく、1月3日に有志からなる「高野病院を支援する会」を設立し、広野町役場で記者会見を行いました。この会の最も大きな目的は、双葉地方の地域医療を守ることです。短期的にはボランティア医師の支援を受けて高野病院の診療を維持しつつ、中長期的な医療体制の展望を県や国に求めています。

環境美化推進員に委嘱状を交付



↑ 委嘱状を受けた谷平正成さん（写真左）

12月15日、新たに環境美化推進員となった谷平正成さん（折木）に委嘱状を交付しました。谷平さんの任期は平成28年12月15日から平成30年3月31日までです。